

Yokohama ヨコハマ リ・ポートサイドプロジェクト Re:Portside Project Vol.1

ヨコハマポートサイド
アートの街に出かけよう！ 2025 秋

入場無料

会場：横浜クリエーションスクエア（YCS）
アトリウム（横浜市神奈川区栄町5-1）

6時30分～20時（日祝は19時まで）

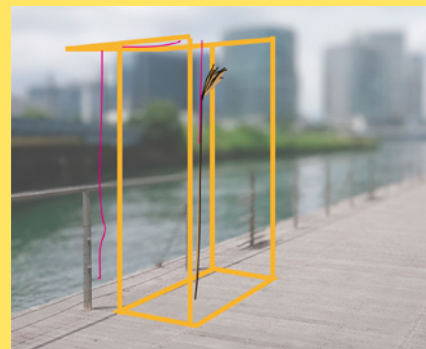
2026年3月15日（日）

展示期間：2025年12月12日（金）～

片岡純也＋岩竹理恵



1994年にオープンしたヨコハマポートサイド地区は、「アート&デザインの街」をメインコンセプトに、洗練された街並みと数多くのパブリックアートが設置され、人とアートが調和する独自の景観を形成してきました。「Yokohama Re:Portside Project」（ヨコハマ リ・ポートサイド プロジェクト）は、再開発から30年が経過したこの街を、現代の視点からあらためて捉え直し、新たな街の姿を見出していこうとするものです。第一弾となる今回は、アーティストユニット「片岡純也＋岩竹理恵」が、ポートサイドの街のフィールドワークを通してリサーチを行い、作品を制作・展示します。新たな視点と創造が交差することで、見慣れた風景が少しだけ違って見えることでしょう。その変化の過程と瞬間をぜひお楽しみください。



Yokohama ヨコハマ・リ・ポートサイドプロジェクト Re:Portside Project Vol.1

ヨコハマポートサイド

アートの街に出かけよう！ 2025 秋

片岡純也＋岩竹理恵

展示

期間：2025年12月12日(金)～2026年3月15日(日)

6:30～20:00(日祝は19:00まで)

会場：横浜クリエーションスクエア(YCS)アトリウム
(横浜市神奈川区栄町5-1)

入場無料



片岡純也＋岩竹理恵 かたおか・じゅんや＋いわたけ・りえ
「岩竹理恵＋片岡純也×コレクション 重力と素材のための
図鑑」(神奈川県立近代美術館 鎌倉別館)、「BankART Life7-
UrbanNesting: 再び都市に棲む」(BankART Station+ オリ
マツ／横浜)、「瀬戸内国際芸術祭2022」、「MOT アニュアル
2020 透明な力たち」(東京都現代美術館)、「2017 BankART
Under35」(BankART Studio NYK／横浜)など。



ワークショップ

日常や街に潜む動きや痕跡を再発見するワークショップです。
どなたでもご参加いただけます。

場所：ホライゾン学園コミュニティセンター
(横浜市神奈川区大野町1-24)

参加費(材料費込)：1000円

(ヨコハマポートサイド地区在住在学在勤の方は500円)

定員：各回10名 要予約



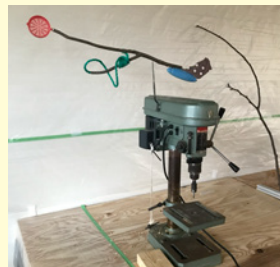
申込はこちら

「リ・モーションー 日常のかけらで動きをつくる」

2026年2月7日(土) 13:00受付開始/13:30～15:30

2026年2月8日(日) 13:00受付開始/13:30～15:30

身近な素材や廃材を組み合わせ
て、キネティックオブジェをつ
くります。素材の形や重さ、バ
ランスに耳を澄ませ、手を動か
すたびに生まれる微細な揺らぎ
を観察します。手と目の観察と
体験が小さな装置となります。



「リ・ポストサイドー 街と手の往復書簡」

2026年2月14日(土) 13:00受付開始/13:30～15:30

2026年2月15日(日) 13:00受付開始/13:30～15:30

歩く、触る、切り貼りする、
路地や建物の表面をフロッ
タージュで採集し、紙片を
コラージュして切手を貼り、
ポストへ。街を“リ”＝再び
読む、送る、受け取る。歩く
手の痕跡は郵便ハガキのかたちで標本になります。



主催：ヨコハマポートサイド街づくり協議会

運営協力・お問い合わせ：BankART1929

info@bankart1929.com tel.045-663-2812

※この事業は、公益信託ヨコハマポートサイドまちづくりトラスト(アート&デザイン部門)の助成を受
けて実施します。